

# Tiara

看護情報誌ティアラ 2019年12月

Nursing 最前線 ● 厚生連高岡病院

より確実な技術と知識を  
患者さんに届けるため  
実践力を備えた看護師を  
医療安全技術研修で育成

SCOPE 注目の話題 ● 新潟県感染対策セミナー

臨床現場での実践から疫学の活用まで  
多角的な視点で

感染対策に取り組もう

新潟県感染対策セミナー2019開催

紹介します！ わが看護協会 ● 岐阜県看護協会

重症心身障がい児が在宅で生活できるよう  
行政と連携を図りながら看護の力を生かす

このたびの台風19号により、  
お亡くなりになられた皆さまの  
ご冥福をお祈り申し上げますとともに、  
被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。



# より確実な技術と知識を 患者さんに届けるため 実践力を備えた看護師を 医療安全技術研修で育成

## 厚生連高岡病院

富山県西部地区の医療を80余年にわたり支えてきた厚生連高岡病院。33の診療科を有し、救急医療やがん医療、周産期医療など高度医療に取り組む一方で、総合診療科や緩和ケア病棟を新設するなど、より地域に求められる病院を目指し歩んでいます。そして、このような幅広い医療を支えていくために、能力の高い看護師の育成を目的とした「医療安全技術研修」を展開しています。



### 臨床現場でも現れている 「医療安全技術研修」の成果

「『医療安全技術研修（以下、技術研修）』で実際に体験しながら手技を身につけられたことが、いまとても役に立っています」

2019年度に入職し、技術研修を受けた杉野晴菜さんはこのように話します。消化器内科と泌尿器科の患者さんがいる病棟に所属していますが、ベッドサイドで落ち着いて採血をする姿がみられました。

「初めての採血でも、患者さんへの声かけから、実施、後始末まで、思ったよりスムーズにできました。うれしかったですね。研修中から、自分がどのように手技を実施すればよいか、イメージできたことが大きかつ

たと思います」（杉野さん）

自分の安全を守りながら行う確実な手技が獲得できた杉野さん。このように、技術研修の成果は目に見えて現れているようです。

### 演習を中心にプログラムを構成 確実な技術・知識の獲得を目指す

2016年から行われている技術研修は、医療安全対策室によって計画・立案されてスタート。看護部の新人教育プログラムと併せて行われています。

「特に注射や採血など、患者さんに侵襲を与える手技は、新人でも確実に行わなければなりません。でも、血管の捉え方や陽圧ロックなど実際にやってみなければ理解・習得しにくいものも多い。ですから、安



1. 研修で得た確実な手技で自信をもって採血を行う杉野さん
2. 実施前の手指消毒もしっかりと
3. 胸の新人マークは実技研修を受けている証でもある
4. 2019年度の技術研修を受けた杉野晴菜さん
5. 医療安全管理部管理者部長の赤江郁子さん（左）と医療関連感染管理部看護師長の澤野博美さん（右）



6

6. 技術研修の様子。救急対応のなかでも重要な心肺蘇生法を学ぶ

7. 吸引は2018年度から研修項目に加えられた

8. 参加者は研修終了時に確認テスト(左)を提出し、その採点結果と共に医療安全技術研修修了証(右)が手渡される



7



8

全を守るためには演習を中心とした研修が必要だと考えました」と話すのは、同室医療安全管理部管理者部長・認定看護管理者\*の赤江郁子さん。共に院内の医療安全を支える医療関連感染管理部看護師長・感染管理認定看護師\*の澤野博美さんと話し合ううちに、研修の構想がまとまったといいます。

技術研修は、毎年4月後半に2日間で実施されます。プログラムは、救急対応、手指衛生、個人防護具着脱、吸引、採血、針刺し・切創・体液曝露対応、輸液確認、留置針穿刺、輸液ラインの準備・輸液ルートの管理、末梢静脈ロック、陽圧ロックなど33項目(2019年度)。1項目あたり20~30分刻みのタイムスケジュールで、講義と演習が行われます。

「研修冒頭に配布した『確認テスト』を最後に提出しなければならないので、慌ただしいスケジュールでも、参加者は一所懸命技術や知識を得ようとします。それが、杉野さんのように実臨床での確実な手技に結びついていると思います」(澤野さん)

当初は新人看護師を対象としていましたが、研修の成果が評価され、2018年からは、新人研修医とりハビリや検査の新人職員、感染防止対策加算を算定する地域連携病院の看護職も参加するようになりました。以後参加者は毎年50~60名を数えます。

## 研修によって先輩看護師も変化 見直すことが進化につながる

技術研修には、看護部医療安全教育連絡会の推進メンバーや認定看護師など多くの看護師が、グループリーダーや講師として指導・運営にかかわっています。回を重ねるごとに皆の主体性が増し、いろいろなアイデアが出されるようになっていたりとか。一方で、実践力をつけた新人看護師の存在が病棟の刺

激になり、自らの手技を見直す先輩看護師が多くなったといいます。赤江さんは「新人看護師がせっかく身につけた技術が、現場で崩れてしまっはいけない。そういう意味でも、全看護師に自身の技術を見直してもらい、ひいてはそれが手技の標準化につながればいいと思います」と話します。自身も研修参加者の姿から学ぶ大切さを痛感し、2019年に認定看護管理者の資格を取得したそうです。

今後の技術研修については「同じ研修であっても、毎年同じ内容であってはいけないと考えています。それでは今以上の成果が得られないことになってしまう。今後も、効果を見極め、評価し、見直ししながら、発展させていきたいと思います」と澤野さん。着実な積み重ねの結果、病院長や臨床指導医はじめ院内全体の協力が得られるようになった技術研修。これからますますの進化が期待できそうです。



### DATA

富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院

富山県高岡市永楽町5-10

<http://www.kouseiren-ta.or.jp>

開設 ●1936年 病床数 ●533床

職員数 ●1047名

うち看護職574名(2019年10月現在)

看護体制 ●一般病棟7:1

日本医療機能評価機構認定病院/富山県地域医療支援病院/地域がん診療連携拠点病院/災害拠点病院/地域周産期母子医療センター

\*日本看護協会による認定資格



セミナーが行われた燕三条地場産業振興センター  
リサーチコア

## 臨床現場での実践から疫学の活用まで 多角的な視点で 感染対策に取り組もう

新潟県感染対策セミナー 2019開催

ニプロ株式会社およびビー・ブラウンエスクラップ株式会社による「新潟県感染対策セミナー」が、2019年5月11日に燕三条地場産業振興センター リサーチコア（新潟県三条市）で開催されました。感染管理ネットワーク新潟（ICNN）の支援協力のもと、青木美栄子先生（新潟大学医歯学総合病院感染管理認定看護師）をプランナーに迎え、臨床現場での具体的な実践と、地域に目を向けた感染対策の考え方をテーマに講演が行われました。その内容をご紹介します。

### 1部 講演

#### カテーテル関連血流感染防止と 針刺し防止の両立

座長 新潟大学医歯学総合病院 感染管理認定看護師  
青木美栄子先生

マニュアルの整備や周知、適切な医療器材の選択など、感染対策において重要となる臨床での取り組みについて、3つの医療機関での実践が報告されました。

#### 末梢静脈カテーテル関連 血流感染防止への取り組み

～院内マニュアル改訂とアンケートを活用した  
看護師への周知活動～

講師：信楽園病院 感染管理認定看護師 佐藤孝江先生

2011年以降、血液培養検査でのコアグラウゼ陰性ブドウ球菌（CNS）\*1の検出が徐々に増えてきていたことを受け、感染対策チーム（ICT）は、2015年にカテーテル関連血流感染（CRBSI）症例について情報収集や管理方法を確認し、院内マニュアルの見直しを行いました。「血管内カテーテル関連感染防止CDCガイドライン2011」をもとに、留置針の交換時期や穿刺部の消毒方法など、2017年2月に改訂を実施。院内感染対策委員会、看護師長会議、看護部リンクナース委員会で報告するほか、ポスター掲示や広報誌で院内全体への周知を図りました。

その後、2017年と2018年に看護師を対象にアンケート調査を実施し、マニュアルの活用状況や周知状況を把握したところ、2018年には血液培養検査でのCNS検出件数が26件から17件に減少。佐藤孝江先生は「ICTによる一連の介入がCRBSI対策の教

育につながった」として、今後は手技や手順の確認・評価を行いたいと結びました。

#### 患者・職員に安全な 輸液材料導入への取り組み

～安全機能付き静脈留置針の変更経緯～

講師：新潟県済生会三条病院 感染管理認定看護師 早川陽子先生

以前から輸液材料について問題を感じていた感染対策室では、留置針とドレッシング材について医療安全と感染管理の両面から問題点を洗い出しました。「自己あるいは自然抜去」「圧迫による皮膚トラブル」「（ドレッシング材が）未滅菌」「静脈炎の発生」「血液曝露のリスク」などが挙げられ、これらを改善する製品の導入に向けて取り組みを開始しました。

まず院内感染対策委員会と医療安全対策委員会で製品の変更を提案。血液曝露のリスク軽減、固定力のアップ、刺し直しの減少というメリットが認められ、新たな製品への変更が承認されました。医師や看護師に対し体験型の製品説明会を開いた後、2013年11月から新たな製品の使用を開始。同時に固定手順の写真付きマニュアルで周知を図りました。

「導入後は使用状況や効果の調査を行い、輸液回路での抜去回数や留置針による針刺し件数が減少したことが確認できました。一方で、針刺しはゼロではなく、さらに血液曝露のリスクもあるため、正しく安全に使用するための指導の継続が必要だと考えています」と早川陽子先生。皮膚が脆弱な患者さんの固定については、皮膚・排泄ケア認定看護師と連携を図りながら手順化を行いたいとしました。

\*1 カテーテル関連血流感染（CRBSI）の代表的な原因菌

## 安全機能付きインスリン針の導入経緯

講師：長岡赤十字病院 感染管理認定看護師 塩入久美子先生

感染管理室は、2007年から10年にわたるデータをもとに、針刺し切創の原因となっていた医療器材のなかから、安全機能が付いていないペン型インスリン針に注目して分析を実施しました。その結果、使用後の針が自動収納される機能が付いた器材を使用することでリスクの低減が予測されたため、その導入に向けて動き出しました。コストの上昇、従来針と異なる使用感に対する違和感などが問題となりましたが、使用者を医療者に限定して使用数を減らし、院内全部署に対し説明と演習を実施することで違和感を解消しました。その結果2017年7月から使用開始となり、導入後新たな器材については針刺し報告がなく、今後は従来品と併せて、発生状況の追跡を行っていく方向です。

塩入久美子先生は「新規器材のスムーズな導入には、事前にサンプリングを行い、それを評価し、問題解消のための演習を行うことが重要。文書のみではなく、対面で説明することが理解と周知を早めると思います」と話しました。

## 2部 特別講演

### アウトブレイクの気づきから対応まで ～疫学を最大限に活用する方法～

座長 三条総合病院 感染管理認定看護師 小柳浩子先生

講師：防衛医科大学校 防衛医学研究センター  
広域感染症疫学・制御研究部門 加來浩器先生

「アウトブレイクとは通常より多い患者発生のこと。感染管理者による『いつもと違う』という気づきが早期発見には重要です」と加來浩器先生。その際、疫学の3要素である「時」「場所」「ヒト」でデータを分析することが有効だといいます。そのためには、まず院内でのサーベイランス\*2・システムを構築することが必要。目的、対象、指標、報告要領の観点からルールを決め、施設内全体で統一された方法によるサーベイランスの実施がポイントです。

サーベイランスには、インディケータ・ベース・サーベイランス（IBS）とイベントベース・サーベイランス（EBS）があり、IBSはインフルエンザやカテーテル関連血流感染の監視・分析に用いられています。EBSは新興感染症、バイオテロなど予想外のイベントへの応用が期待されるもので、迅速なリスク評価を行うことができます。加來先生は「疫学を感染対策に最大限に活用・応用してほしい」と訴えました。



講演は実践事例から疫学の活用法まで幅広いテーマで行われた。自施設でも活かせる内容に参加者の表情は真剣そのもの



質疑応答では時間のある限り講師の先生方が参加者からの質問に答えた。質問に答える塩入久美子先生（写真左）と早川陽子先生（写真右）



展示されているニプロの製品に興味津々の参加者たち



ご登壇いただいた先生方。（前列左から）加來浩器先生、青木美栄子先生。（後列左から）佐藤孝江先生、小柳浩子先生、塩入久美子先生、早川陽子先生

\*2 疾病の発生状況やその推移などを継続的に監視することにより、疾病対策の企画・実施・評価に必要なデータを系統的に収集・分析・解釈し、その結果を迅速かつ定期的に還元するものであり、疾病の予防と制御に用いられる。（CDC 1986）

紹介します! / 全国都道府県看護協会をぐるっと巡る

# わが看護協会

vol.5

岐阜県看護協会



岐阜県看護協会  
会長  
石山光枝さん

どんな診療科であってもスペシャリストを目指す——それを積み重ねれば総合的な専門性を備えた看護職になります。自らが変われば周囲も変わるという気持ちを持ち、前向きに看護に取り組んでほしいと思います。

## 重症心身障がい児が在宅で生活できるよう 行政と連携を図りながら看護の力を生かす

### 看護職がコーディネートする 重症心身障がい在宅支援センター

岐阜県看護協会では、2014～2015年にかけて行われた「岐阜県在宅重症心身障がい児者等実態調査」の一部に携わりました。これは県からの委託によるもので、その背景には、医療の知識を備え、本人および介護者の心情に寄り添うことのできる看護職の能力を活用したいという要望がありました。この調査により、医療（NICU）と福祉・介護（在宅）をつなぐ役割の必要性が浮き彫りになったことから、本会では、引き続き県からの委託事業を受託。「重症心身障がい在宅支援センター みらい（以下、みらい）」を立ち上げました。

みらいは、2015年に岐阜本所、2018年に飛騨サテライト、2019年に中濃および東濃サテライトが開所。現在4カ所の拠点があり、各拠点に相談員（看護職。うち1名が家族看護専門看護師）が常駐して、家族や医療・福祉施設からの相談に対応しています。ほかの都道府県では例をみない事業なだけに、開所当初は、相談員の動き方や支援対象者の理解の獲得など手探り状態で進めていた時期もありました。し



会長の石山光枝さん

かし現在は、NICUを有する医療機関、訪問看護ステーション、訪問介護サービス、行政保健師などと連携を図り、支援体制の構築・整備を行っています。

相談員は、NICU入



家族交流会の様子。児も家族も多くの人と交流しながら、一緒に楽しいひとときを過ごす



院時から退院支援を開始。不安を抱える両親の話に耳を傾け、児の快方・成長を共に見守りながら、在宅での生活にも目を向けられるよう支援します。さらに、その児や家庭にはどのようなサポートが必要かを考え、訪問看護ステーションなど関係各所と相談・調整を行います。また、すでに在宅療養中でサービスを受けていないケースでは、その理由を探り、介護家族に寄り添って、必要な支援の導入を進めています。

地域でのネットワークづくりもみらいの重要な役割です。各地区で実施している家族交流会は、児や家族にとって、楽しみの場であると共に、情報交換や学びの貴重な機会になっています。

### NICUから在宅までの看護をつなげる さまざまな人材育成の取り組み

重症心身障がい児を在宅で支えられるようにするためには、NICU看護師には小児急性期看護だけでな

く在宅を見据えた退院支援のスキルが、訪問看護師には小児急性期看護のスキルが求められます。みらいで年1回開催している「小児在宅支援研修会」では、訪問看護師を中心にさまざまな看護職が参加し、医療依存度の高い児に対するケアや在宅で求められる視点などを学んでいます。その一方、本会でも2018年からNICU看護師に対する教育プログラムの作成に着手。退院支援に取り組める人材を医療機関内に継続的に育成していくことがなげらいです。このような人材育成により、NICUから在宅まで継続した看護が展開できるようにすることを目指しています。

重症心身障がい児が増えている現状において、その在宅支援体制の整備は重要な課題です。しかし、重症心身障がい児がどのように生活しているかは、あまり社会で知られていないように思われます。本会がみらいの事業に取り組むことで、児に対する支援が“見える支援”になることを期待しています。そしてそれが、児は家族の愛情を受けながら安心して生活でき、家族はその成長に幸せを感じられる——そんな在宅支援につながっていくことを願っています。



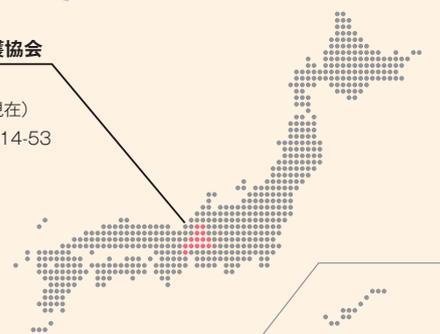
(写真上) 小児在宅支援研修会には多くの看護職が集まった  
(写真下) みらいの機関誌 (年2回発行)

公益社団法人 岐阜県看護協会

会員数 / 12122名

(2019年8月31日現在)

住所 / 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53



Let's  
看護  
みかき

看護の学びに  
役立つ情報を紹介します

vol.8



治療や機能訓練による食事状況の改善がうまくいかず、食事支援に行き詰まっている人にオススメの1冊。機能向上が難しい患者さんでも、がんばらずに、苦痛なく、楽しく、安全に食べられることを目指した「環境的アプローチ」を解説して

います。患者さんの状態に合った食事姿勢や食具選択をはじめ、シンプルで実施しやすい食事支援が学べます。

**がんばらなくても誤嚥は減らせる！**

**シンプル食サポート**

**誰でもできる 毎日できる 高齢者の食事支援**

佐藤彰紘 著 / 深松幸子 編集協力

医歯薬出版

2400円 (税別)

ナースが地域の自慢のおみやげをご紹介します！

自慢の /

今回の推薦者



岐阜県看護協会  
会長  
石山光枝さん

おみやげ  
Collection

vol.8  
岐阜県

ふる一つ大福



イチゴ、バナナ、栗、粒あんが、ふわふわなお餅とマイルドなホイップクリームに包まれた大福。甘さ控えめでフルーツの味が生きています。季節ごとに登場する限定品も楽しみ。手土産の定番です。1個 280円 (税別)

養老軒 本店 0574-53-6291 <http://www.yoroken.com/>

心のモヤモヤを  
スッキリ解決!

# ナースの ストレス攻略術

vol.6

解説

ベスリクリニック  
保健師  
長田梨那さん



## 今回のストレス

憧れの看護師になったのにやる気が出ません。  
仕事ができるようになってもやりがいを感じられず……。

看護師になりたての頃は、覚えること、勉強することが多く大変だったと思います。それが今では、できることが増えた分、新鮮な体験も減り、業務が流れ作業のように感じられてしまうのかもしれない。

やる気が出ないときの原因は、「身体」と「考え方」の大きく2つに分けられます。身体の場合は、疲れが大きな原因。睡眠や栄養を十分にとり、エネルギーを補充してあげてください。考え方の場合、目標を見失っていることが考えられます。まずは、看護師になる夢を叶えた今のあなたを認めてください。そのうえで、新たに今後の目標を立てましょう。

看護師の働き方の選択肢は幅広くあります。興味のある診療科へ異動したり、認定看護師の資格を取得することもできますし、働く病院の規模を変えてみるのもよいでしょう。あなたの悩みは、成長した結果であり、悩みはさらなる成長のチャンスです。看護師に憧れていた気持ちのように、今後の人生がワクワクするような新しい目標を見つけたいかがででしょう。目標とする先輩、あるいは医療とは関係なく頑張っている人の話は、忘れていた大切なものを思い出すヒントになるかもしれません。悩んでいると、目線も心も伏せがちになります。視線を上げて、みつめる世界を広げてみましょう。

夢を叶えた自分を認めてあげましょう。  
そのうえで新しい目標を探すことが大切です。

**医療研修施設**  
**ニプロ iMEP** に行ってきました!!

在宅用のトレーニングルームもあるんですね。

ここでは主に薬剤師さんが研修をするのよ。調剤をするためのクリーンベンチもあるのよ。

こんな感じですかね?

せつ先輩~!! エラー音が止まりません!!

この部屋では、患者さんの状態を細かく設定して、実際の急変時にどう動けばよいかをシミュレーションできるのよ。現場に近い状況で研修できて、新人ナースにもってこいね。

一軒家のようにあって、ポータブルトイレや、隣にはバス、キッチンも揃っているのよ。実際の状況に近い形で研修できるの!

コラ! 遊ばないの!

**施設 DATA**  
「医療研修施設 ニプロiMEP」  
〒525-0055 滋賀県草津市野路町3023番地  
3階建て 研修室数17室  
各研修室には最新の同時録画装置を設けており、館内でのライブ配信学習、録画振り取り学習はもとより、WEB回線を用いることで世界中に配信も可能  
医療関係者向け講習会のお知らせは下記よりご確認ください  
(URL)  
[http://med.nipro.co.jp/imep\\_society](http://med.nipro.co.jp/imep_society)

QRコード

NIPRO